

## 第9章 中央本線（多治見～金山）

### 第1節 7月21日（土）：多治見～勝川

多治見(11:45)～古虎溪(13:43)～定光寺(14:40)～高蔵寺(16:06)～神領(17:28)～春日井～勝川(18:17)

夏の青春18切符の皮切りは、2007年7月21日（土）から22日（日）にかけて中央線に挑戦する。春の続きである。料金も従来通りで5日分綴りが11,500円で春の20周年に比べ3,500円高くなる。4時過ぎに起床したところ小雨が降っており、名古屋方面に行くか否か迷う。しかし、天気予報は当たらないだろうし、宿泊を予約しており、挑戦に踏み切る。目覚ましは4時前でセットしておいたが、全然機能せず。前日のテレビ番組による夜更かしが聞いたのかもしれない。急いで仕度し何とか南林間始発の5時3分に間に合う。運良く、私が出る頃には雨は止んでいた。

本日の多治見11時37分着までのダイヤは以下の通り。青春18切符の乗車手続きに時間を要する可能性もあるため南林間5時21分ではなく、5時3分の始発とする。本日も藤沢から金山に向け、座席に全員が掛けられる程度の込み具合であった。

南林間 5時3分

藤沢 5時49分

小田原 6時22分（6時21分着の乗り継ぎ）

熱海 6時49分（6時45分着の乗り継ぎ）

浜松 9時30分（9時19分着の乗り継ぎ）

豊橋 10時7分（10時3分着の乗り継ぎ）

金山 11時7分（10時54分着の乗り継ぎ）

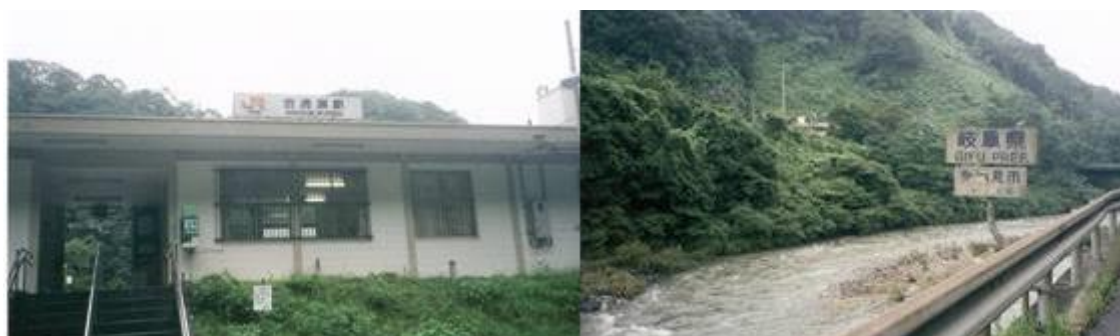


昼の多治見駅



道草

途中、浜松近郊で小雨模様となるが、多治見に着く頃には曇りとなり、歩きやすかった。多治見駅は春に比べ寂れたような気がする。それは駅でのうどん・そば等の売店が閉鎖されたからである。多治見駅からの歩きは 11 時 45 分となる。地図をうる覚えのまま歩いたため、行きなり障害にぶつかる。小高い山となり JR 線の左に行く道がない。11 時 55 分、新首都を東京から東濃と書いた看板のある田代歩道橋を横切り、JR 線に沿って歩く。救急車のサイレンを聞く。行き止まりとなり、線路を潜り JR の右側に出る。万歩計で 71 歩の田代橋(昭和 33 年 1 月竣工)を渡る。川の水は左の方向に流れていく。この近郊には自動車の整備工場が多々あった。12 時 14 分、左手に JR のトンネルがある辛沢橋 (からさわ) に差し掛かった辺りで不安となり、二人目の人に尋ねる。最初の人に聞いたときは、簡単に行けると思ったが、山が絡み不安が倍増したためである。JR 線の左にある県道 15 号線に出られそうにないと考えたからである。この道に出ないと、古虎溪駅 (ここけい) や定光寺駅 (じょうこうじ) 駅を踏破できないからである。二人目の人のアドバイスで引き返すことにする。12 時 27 分、県立多治見病院前を通過。ここで、この病院の関係者に道筋を尋ねる。500m 位先を迂回し、土岐川を渡り、土岐川に沿って続く県道 15 号線を教えていただく。川の向こうには確かに道路らしきものがあり車が流れていた。



古虎溪駅

市民病院前畑町交差点に 12 時 41 分到着。そして万歩計で 183 歩の国長橋 (土岐川) を渡り、土岐川に沿った県道 15 号線の交差点平和町 5 には 12 時 47 分到着し安堵する。約 1 時間のロスをしたが、ウォーキングの醍醐味のひとつと対面できた。13 時 30 分、乗り合いバスが追い越して行く。15 号線のトンネル手前の右手方向で上下の電車が通過して行く。高蔵寺駅の手前まで右手に土岐川、その先に山間に沿って JR 線が続く風景の中を歩く。トンネルの長さは万歩計で 290 歩だった。歩道が独立してなく、危険な歩きとなる。また、車道にはセンターラインはなかった。地球村桂川という看板の先に古虎溪駅 (13 時 43 分) があった。道路から階段で十段位上がったところに駅舎があった。この駅は山間にあり周りはひっそりしていた。再度線路を潜った先で上りの電車 (快速または特急) が通過して行く。この駅から 200m 位行った先は岐阜県と愛知県の県境であった。10m 位の鉄橋があった。



瀬戸市への入口 定光寺駅

愛知県瀬戸市には 13 時 47 分に入る。庄内川河口まで 44Km と表示があった。14 時 40 分、土岐川岸に沿って定光寺駅があった。断崖絶壁にある駅であった。この駅はグリーン  
の飾りが印象的な城嶺橋を渡って崖縁を右につたい歩きた先にあった。橋を渡った左に  
はホテルのような定光寺があった。橋の手前の県道 15 号線には中小企業大学校サンパレア  
瀬戸（愛知県労働者研修センター、公共の宿）のバス停があった。道路に沿って自家用車  
が数台止められていた。この近郊でペットボトルが空になる。山道のため自動販売機は見  
当たらず。やっと 15 時 15 分、メイリク流通（株）前で自動販売機を見つけ水分補充し、  
元気を取り戻す。15 時 32 分、瀬戸市鹿乗町辺りで JR 線がいつの間にか左手側となる。線  
路を潜り再度 JR 線を右手（15 時 40 分）にする。



定光寺駅 名古屋市入口



高蔵寺駅 草加園

15 時 48 分、名古屋市に入る。この近郊で土岐川から庄内川となる。万歩計で 274 歩あ  
る東谷橋（とうこく）を渡る。その先は名古屋市ではなく春日井市であった。16 時、橋を  
渡った先に庄内川河口まで 35.4 km とあった。いつの間にか小雨となり、日よけに持参し  
た蝙蝠傘をさす。高蔵寺駅には 16 時 6 分到着。この駅には愛知環状線もあり、駅前には賑や

かであった。山間にある古虎溪駅や定光寺駅とは比較できないほどであった。16時6分、地下道を通り JR 線を左手にする。電車から高蔵寺駅以降 JR 線の右側が歩きやすいと考えたからである。16時36分、黒坪橋（H15年3月竣工）を渡り幹線道路から住宅街の道路に入る。16時50分、内津川（70歩）の先に草花園があった。17時過ぎ神領（じんりょう）駅が見えるが複数の線路が邪魔して渡れず。300m位先の陸橋を渡り線路を越え JR 線の左側に出る。300m位戻った先に神領駅（17時28分）があった。小雨はいつの間にか上がっていた。

17時58分、道路が踏切に続く関田踏切を越え、JR 線の右側に出る。18時17分、春日井駅に到着。そこから鉄道に沿った先に勝川（かちがわ）駅があった。全くの花道街道でわかりやすい道だった。勝川駅には19時5分到着。丁度暗くなる時間帯であった。勝川駅は工事中であり、上り下りが分離されており、下りホームは15m位高架されたところにあった。19時13分の普通電車で名古屋駅に向かう。名古屋駅ビルのうまいもん通りのなごやキッチンでみそかつとビールを注文する。東横イン（403号）には20時22分到着。本日の営業距離は21.2Km、万歩計は58,314歩だった。万歩計で通算1,000万歩達成する。本日は曇り空で歩きやすかった。それからプロ野球がオールスターのためストレスがなくよかった。



神領駅

## 第2節 7月22日（日）：勝川～金山

勝川(9:10)～新森山(10:17)～大曾根(11:26)～千種（ちくさ、12:16）～鶴舞(13:20)  
～金山(14:16)

2007年7月22日（日）5時過ぎに目が覚める。天気予報は晴であり、炎天下での歩きが予想された。7時の朝食を摂り、7時半過ぎホテルを出る。7時57分の笠寺行きに乗り、熱田駅で降りる。電車の中で東横インから忘れ物の連絡を受ける。熱田駅で降りたのは、熱田神宮に初孫成志誕生へのお礼参りのためである。熱田駅8時42分発の電車で金山駅（かなやま）に戻る。熱田駅では JR 職員のラジオ体操が行なわれていた。金山駅8時50分の快速で勝川駅（中津川行き）に向かう。



勝川駅



新守山駅

勝川駅には9時10分到着。勝川駅には浴衣を着た力士を数人見かける。縁起をかついだのだろうか。勝川駅から少し行った先に城北線の勝川駅があった。9時47分、勝川橋北に到着。万歩計で597歩の庄内川を渡る。庄内川の河原には庄内川幸心ゴルフがあり、数十人がゴルフ練習を楽しんでいた。この橋を渡ると春日井市から名古屋市（八のマーク）となる。幹線道路から市街地の道路を切り替え、鉄道を潜った先に新守山駅（10時17分）があった。駅はJR線の左側にあった。右側は工場が続いていた。駅前には明光義塾があった。10時24分、JR線に直角になっている古川遊歩道があった。この近郊に珍しいことに3畝程度の水田（守山区金屋一丁目）があった。稲が青々と育っていた。万歩計で260歩の矢田川を渡る。その先に名鉄の矢田駅があった。ここから名鉄とJR線が並走していた。11時7分、白山神社北（東区矢田二丁目）を通過。



大曾根駅



11時26分、大曾根駅北口に到着。ここから5分位行った先に名古屋ドームがあった。11時36分、10階建てビルに南口があった。駅は工事中であった。11時51分JR線の左手側に出る。JR線は道路下にあった。新出来橋がJR線を越える橋であった。JR線沿って千種(ちくさ)駅近郊まで中央緑道が続いていた。12時16分、JR線の線路を潜り千種駅に到着する。駅から200m行った先に河合塾のビルが2棟あった。駅前の吉野家で昼食にする。冷房が効き涼しく感じた。昼食を終え、セブンイレブンには入ったところ沢山の若者に出会う。河合塾の学生が昼食時間帯であったからだろう。12時55分、名古屋市立千石小学校前を通過。若宮大通に沿った高速道路の日陰でタクシー運転手が休息をしていた。



中央線緑道



千草駅

13時20分、鶴舞駅に到着。駅前には広大なグリーンアドベンチャー鶴舞公園コースがあった。高さ10.2mの鶴舞公園噴水塔があった。木陰では年輩仲間での将棋や麻雀大会が行なわれていた。公園の近くには名古屋工業大学があった。駅前の陸橋を渡り空港線の幹線道路に13時41分出る。JR線(高架)は空港線に沿って並走していた。13時55分、新堀

川に跨る向田（むかいた）橋を通過。名鉄、JR 線等が接するターミナル駅である金山駅には 14 時 16 分に到着。駅のトイレで着替え、14 時 31 分豊橋行きに乗り自宅へ。豊橋駅で 15 時 34 分の浜松行きに。浜松駅で 16 時 17 分の熱海行きに。熱海駅で 18 時 58 分の東京行きに。自宅には 20 時 50 分到着。本日の営業距離は 11.7Km, 万歩計で 40,384 歩だった。本日で中津川から名古屋までの 79Km を 4 回で踏破する。

中津川から名古屋までの中央線は、予想以上に山道が絡みかなり歩き応えのあるコースであった。また、遠方であったのでアクセスに相当時間を要したのも印象に残った。観光地は運悪く特に見当たらなかったが、充実した歩きを存分に楽しむことができた。



鶴舞駅

鶴舞公園

金山駅